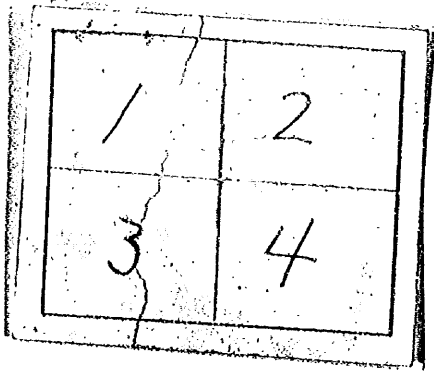


分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

二二〇軍

部隊名 第三九師團通信隊

通稱 藤六八七〇

郵便所名

全般概要		轉入		轉出		員人制編	
一四、六、三〇 總司令 一四、一〇、一 第一連 二〇、五、一三 司令部より滿洲建設通信隊に 部隊の半数を派し二〇九名 の編成で常備出發 二〇、七、二五 海軍省 二〇、八、一〇 且「ソ」開戦の報に接し四 平に向上人員約二三〇(將)		自一五、四一 至一六、七、三 〇 歩一聯 三一八名 其の他 六名		二〇、四、二九 二〇、三、三〇 一〇二名 其の他 六名		219	
隊別	本	有	無	線	線	線	線
隊長名 (内は先代を示す) 大尉 和田外城生	見土 有附	少尉 豊島 三木					
開入 戦時 人員	10	80	140				
駐屯地	龍海	右 同	右 同				
戦闘間の状況及損耗	平 四	右 同	右 同				
終戦後の人員變動							
作業大隊より 入「ソ」迄の變動	九、一〇 四平三大 ① 龍海中佐(四平中佐同 司令)以下一、四〇〇名	同 右	同 右				
隊別計	入「ソ」人員						
滿洲殘留							
							約208

九、九、五
九、九、二
九、九、一
九、九、〇
九、八、三〇
九、八、二〇
九、八、一〇
九、八、〇
九、七、三〇
九、七、二〇
九、七、一〇
九、七、〇
九、六、三〇
九、六、二〇
九、六、一〇
九、六、〇
九、五、三〇
九、五、二〇
九、五、一〇
九、五、〇
九、四、三〇
九、四、二〇
九、四、一〇
九、四、〇
九、三、三〇
九、三、二〇
九、三、一〇
九、三、〇
九、二、三〇
九、二、二〇
九、二、一〇
九、二、〇
九、一、三〇
九、一、二〇
九、一、一〇
九、一、〇
九、〇、三〇
九、〇、二〇
九、〇、一〇
九、〇、〇

隊名第三九師團通信隊

通稱號藤六八七〇

郵便所名

線	無	線	有	部	本	別	隊
	少尉 同 豊島 三木		見士 有尉			大尉 和田外城生	隊長名 ()内は先代を示す
	140		80		10		開人 戦時 人員
	右 同		右 同		龍 海		駐屯地 平時
	右 同		右 同		平 四		戦時
	横濱第三九師團へ配属し本軍管区下五島 嶺三九師本隊と行動を共にす 九、九奉天にて解散 (既報済み)						戦闘間の状況及損耗
							終戦後の人員變動
						九、一〇 四年三六 <small>① 藤本中佐(四年停戦前 命令)以下一、四〇〇名</small>	作業大隊より 入ソ返の變動
							入ソ人員 除別計
							約208
							満洲残留
						カラカランダ	收容所名
							所人員
							死亡
							満洲ソ領 より
							人員
							者 状況不明 数

二〇、九、一〇 四平
 作業第三大隊へ編入さる
 二〇、九、一六
 四平が黒河村由入「ソ」入
 院（二〇黒河）
 二〇、一、二〇
 現在 一四三名
 續別録留若干有る儀
 二二、六、一五 現在
 カマカン第一收容所に三
 〇名あり
 九、五
 逃亡二
 各隊駐劄
 計二三名（後訂せり）
 其の位
 五
 二〇、九、四
 四平武部
 楊木林に收容せり
 武解后
 入院（三）四平（病）（主
 方）現行部入「ソ」

219

	線	無	線	有
		同 少尉 三 豊島		見上 有尉
	140		80	
		右 同		右 同
		右 同		右 同

續重兵第三九聯隊へ配属山本軍曹以下五名
 續三九聯隊本部と行動を共にす
 九、九 奉天にて解散
 （散後見下り）

約208

	線 無	線 有
	同 少 三 豊 木 島	見 士 有 財
	140	80
	右 同	右 同
	右 同	右 同
	<small>續三九巻本條上行脚を共にす 九、九 奉天にて加註 (証書異なり)</small>	

約208

同 右

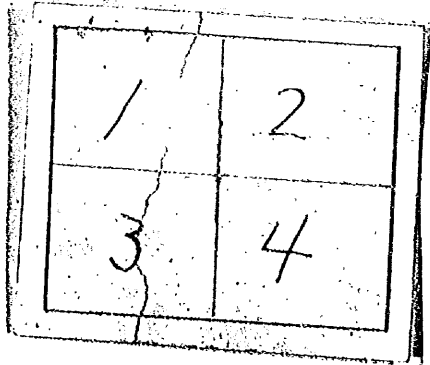
同 右

同 右

同 右

同 右

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

三〇軍第三九師團部隊名輜重兵第三九聯隊 通稱號 藤六八七一

郵便所名

全般概要

四、六、三〇、通下今
二〇、七、二〇
中文より滿洲海軍に移動
通時發給として信歸自勤
本部隊の主力を減縮す

二〇、八、九
日ソソ閉城となるや未だ
入城せざる部隊を待つため
海軍に假駐しありたるも三
九師に第二聯隊の爲新軍
に向け出發前患者を朝鮮に
後送す(出立八、一〇)
四平に於て下車、附近に陣
地構築中終戦に至る
戦時人員約二、六〇〇名

二〇、八、二〇 四平武庫
橋本林(義勇) 八八名
九、一〇(二七)
橋本林四六(主力)
(約三〇〇) 購入黒河經由
入ソソ

「終戦時に於ける部隊の位
置及部隊本部の行動」
P. 密隊長以下一〇数名及
副隊長以下一〇数名
第一中隊分隊の爲に
通達北中
主力 四平に集結中
本部の第一中(和田中尉指
揮)
一、中(中尾大尉指
揮)
二、中(和田中尉指
揮)
三、中(?)
一、密北支隊より陣討(向
け前進中)と予想す
二、中(一、中)
三、中(主力) 丸山六尉指
揮
及師團長特務隊
P. の行動
八、一九 奉天撤、四平へ
退及せんとするも鐵道の斷
絶にて不可能日ソソ並
進駐一敷民衆へ分宿す

八、二〇、ソソ軍へ兵隊引渡
す一師團隊を四平へ退送し
面司、通達四平へ進出する
に決し密達上各個に追及す
決今(密達)
一、密隊入隊
二、密隊入隊
三、密隊入隊
四、密隊入隊
五、密隊入隊
六、密隊入隊
七、密隊入隊
八、密隊入隊
九、密隊入隊
十、密隊入隊

轉入	轉出
十九年以降	十九年以降
自一四八、一 至一九一、二 二六 六九六名	自二〇、三、三 至二〇、四、二 九 三四野貨庫 三二名
一八、七、一 三九師團 三四名	其の他四四名

502

第	(口)	隊 中 二 第	(馬)隊 中 一 第	部	本	別 隊		開人	駐 屯 地	戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗	終 戦 後 の 人 員 變 動	作 業 大 隊 以 下 入ソソ迄の變動	入ソソ人員 隊別計	滿洲残留
						隊長名	人員							
		中尉 砂田	大尉 中尾 知己		大佐 田中 兵三 副官 判谷 輝夫 中尉 判谷 輝夫	()内は先代を示す	約 130	天 奉	四平	四平	四平	四平	四平	四平
	中進轉	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同
平 四	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同	上 同

隊名 輜重兵第三九聯隊

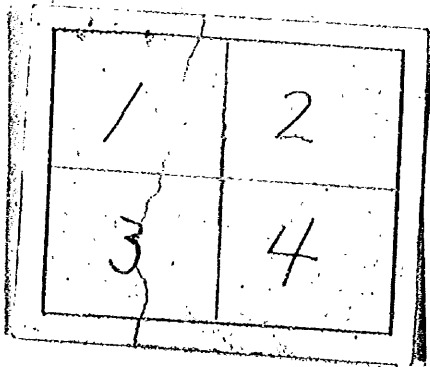
通稱 藤六八七一

郵便所名

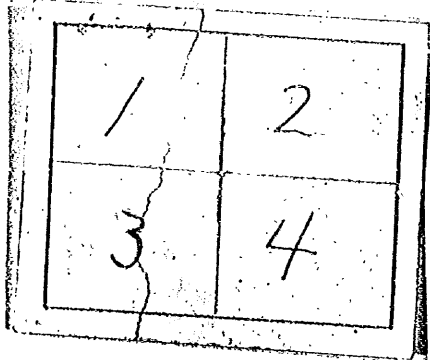
第	(目)	隊 中 二 第	(馬)隊 中 一 第	部 本	別 隊
	一部	中尉 砂田	大尉 中尾 知己	大佐 田中 昇三 副官 判谷 輝夫	隊長名 ()内は先代を示す
			約 130		隊員 約 130 附人
	中進轉				駐屯地
平 四	上 同	平 四	平 四	天 幕	戦間期の状況及損耗
					終戦後の人員變動 奉天にて解散 聯隊長、副官以下は向ふ 死亡 無し
					作業大隊より 入ソ連の變動
					入ソ連人員 隊別計
					滿洲残留
				イルクドック(五)	收容所名
					所人
					死亡
					滿洲ソ領
					人員
					状況不明者数

(四) 隊 中 三 第	(三) 隊 中 二 第	(馬)隊 中 一 第	等
大 庄 方 丸 山	一 部	中 尉 砂 田 大 尉 中 威 谷 三	三
		約 130	
中 進 轉	中 進 轉		
上 同	上 同	平 四	三
		第 二 部	
			ア シ ア リ ン ク レ ン タ ー (H)

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

三〇軍

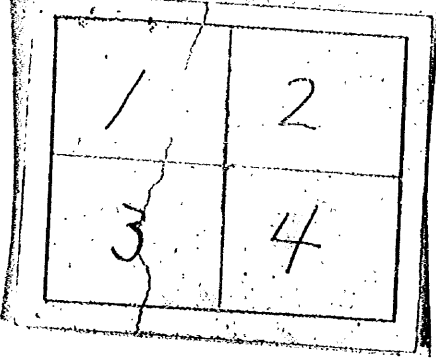
部隊名 第三九師團野戰病院

通稱號 藤六八七四

郵便所名

全般概要	<p>一四、六、三〇 部下令 一四、一〇 廣島陸軍 一五、四、一 廣島 一五、四、二 廣島 一五、四、三 廣島 一五、四、四 廣島 一五、四、五 廣島 一五、四、六 廣島 一五、四、七 廣島 一五、四、八 廣島 一五、四、九 廣島 一五、四、一〇 廣島 一五、四、一一 廣島 一五、四、一二 廣島 一五、四、一三 廣島 一五、四、一四 廣島 一五、四、一五 廣島 一五、四、一六 廣島 一五、四、一七 廣島 一五、四、一八 廣島 一五、四、一九 廣島 一五、四、二〇 廣島 一五、四、二一 廣島 一五、四、二二 廣島 一五、四、二三 廣島 一五、四、二四 廣島 一五、四、二五 廣島 一五、四、二六 廣島 一五、四、二七 廣島 一五、四、二八 廣島 一五、四、二九 廣島 一五、四、三〇 廣島 一五、四、三一 廣島 一五、四、三二 廣島 一五、四、三三 廣島 一五、四、三四 廣島 一五、四、三五 廣島 一五、四、三六 廣島 一五、四、三七 廣島 一五、四、三八 廣島 一五、四、三九 廣島 一五、四、四〇 廣島 一五、四、四一 廣島 一五、四、四二 廣島 一五、四、四三 廣島 一五、四、四四 廣島 一五、四、四五 廣島 一五、四、四六 廣島 一五、四、四七 廣島 一五、四、四八 廣島 一五、四、四九 廣島 一五、四、五〇 廣島 一五、四、五一 廣島 一五、四、五二 廣島 一五、四、五三 廣島 一五、四、五四 廣島 一五、四、五五 廣島 一五、四、五六 廣島 一五、四、五七 廣島 一五、四、五八 廣島 一五、四、五九 廣島 一五、四、六〇 廣島 一五、四、六一 廣島 一五、四、六二 廣島 一五、四、六三 廣島 一五、四、六四 廣島 一五、四、六五 廣島 一五、四、六六 廣島 一五、四、六七 廣島 一五、四、六八 廣島 一五、四、六九 廣島 一五、四、七〇 廣島 一五、四、七一 廣島 一五、四、七二 廣島 一五、四、七三 廣島 一五、四、七四 廣島 一五、四、七五 廣島 一五、四、七六 廣島 一五、四、七七 廣島 一五、四、七八 廣島 一五、四、七九 廣島 一五、四、八〇 廣島 一五、四、八一 廣島 一五、四、八二 廣島 一五、四、八三 廣島 一五、四、八四 廣島 一五、四、八五 廣島 一五、四、八六 廣島 一五、四、八七 廣島 一五、四、八八 廣島 一五、四、八九 廣島 一五、四、九〇 廣島 一五、四、九一 廣島 一五、四、九二 廣島 一五、四、九三 廣島 一五、四、九四 廣島 一五、四、九五 廣島 一五、四、九六 廣島 一五、四、九七 廣島 一五、四、九八 廣島 一五、四、九九 廣島 一五、四、一〇〇 廣島</p>
轉入	<p>十九年以降 自一八、七一 至一七、一一 一五 三九師團工 八三名</p>
轉出	<p>十九年以降 自二〇、四、二 至二〇、七、一 一三二師野戰 其の他 六</p>
編制	351
隊別	
隊長名	<p>「院長」 少佐 坂島 實 「教育主任」 大尉 佐々木實雄</p>
戦時人員	<p>150 155 150 50</p>
駐屯地	<p>四 平</p>
戦闘間の状況及損耗	
終戦後の人員變動	<p>終戦後、及下士官、兵約五〇名四平陸軍病院に帰属せしめられた。残りの下士官、兵は福木林に集結作業大隊に編入された。八、一三、一〇、一〇迄に陸軍の集結により死亡五。</p>
作業大隊より入ソ返の變動	<p>PO 坂島少佐 39 FL 西平陸軍病院 退院者 五〇 九六〇〇</p>
入ソ人員	
隊別	
満洲残留	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0197

三〇軍

部隊名第三九師團病馬廠

通稱號藤六八七六

郵便所名

全般概要	一四、六一三〇 四下令 乙種及	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	員人編	別	隊長名 (内は先代を示す) 獸大尉 沖 正己	戰 闘 人 時 員	駐 屯 地 平 四	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動 本野曹長以下一〇名本林ノ軍本部に歸營 工務兵として勤務	作業大隊より 入ソ返の變動 一〇、一四 本野曹長以下公主嶺にて歸 本大隊に加入せる 入ソ前本野曹長送テテ	隊別 計	滿洲 殘留	收 名
	二〇、八、一一 當歸出發	一三 至一八、一〇、 二九 類三組一四名		66 23			45							
	二〇、八、一三 四平窟	四一五、四、一												
	二〇、八、二三 四平窟	五 至一八、七、一 獲三九名 一四名												
		日一六、四、七 至一九、五、四 野五種 三五名												
		其の他 二八名												

隊名 第三九師團病馬廠

通稱號 藤六八七六

郵便所名

人員編制 別 隊 隊長名 ()内は先代を示す 獸大尉 沖 正己	開入 戦時 人員 45 駐屯地 平 四	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動 本野曹長以下一〇名本隊本隊に歸還 工務員として勤務	作業大隊より 入ソ返の變動 一〇、一四 本野曹長以下公主隊にて歸 本大隊に歸入する 入ソ返 本野曹長逃亡す	入ソ人員 隊別 計	満洲残留	收容所名 收容所 ハバロフスク ハタブラタ	所入 死亡	満洲より 歸還人員 計	状況不明 者数
--	------------------------------------	-----------	--	--	-----------------	------	--------------------------------	----------	-------------------	------------

